

平成29年3月25日（土）に、文京キャンパスにおいて、平成28年度定時評議員会が開催され、「平成29年度学校法人拓殖大学事業計画・予算案」が審議され、原案通り承認されました。

平成29年度の事業計画及び予算の概要は、次のとおりです。

## I. 事業計画

### ◆平成29年度事業計画策定について

#### はじめに

2020年に向けて本学が向かうべき大学教育全体の将来像として「拓殖大学教育ルネサンス2020ーグランドデザインー」を策定し、教職員一丸となって教育改革を推進しているところであるが、これをより一層推進するため、また、大学を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある中で、費用対効果の妥当性・適切性、既存事業の見直しなど多岐にわたり検証しました。

予算編成における取り組みとして、継続事業（経常的支出）については、節減の姿勢を堅持し当年度予算額（平成28年度）を上限に策定しました。なお、引き続き八王子国際キャンパスの活性化と施設の整備充実、学生募集対応、就職支援対応等についても優先的に実行することとしており、具体的な事業内容は、後述の「平成29年度事業概要」に示すとおりです。

### 平成29年度事業方針について（理事長）

#### 1. 法人運営の基本方針

##### (1) 時代認識

21世紀に入り、早16年が経過した。この間、国際社会は経済などのグローバル化が進展するなか、領土や宗教・歴史問題などによる地域紛争や対立が増殖し、世界の平和と安全に不安を与えている。

一方、国内に目を転ずれば、少子高齢化社会の中で活力ある経済や企業活動、グローバル化への対応、地域社会の振興など、わが国の将来に係わる喫緊の重要課題が山積している。

また、大学を取り巻く環境においても、国内の18歳人口は2018年以降に減少傾向が加速し、2031年からは100万人を下回る見通しである。このような状況下で、文部科学省の入学者数の抑制政策により大学はこれまで経験したことのない厳しい時代を迎えることとなった。

##### (2) 大学の社会的責任と本学の使命

わが国は、いわゆる「少子高齢化社会」に伴う諸問題を抱えるなか、加速するグローバル化への対応が遅れていると言われている。

わが国には明治維新（1868年）以来、アジアの国々に先駆け西洋先進国に学び、今日の「近代社会」を構築してきた歴史がある。そして、その担い手となった人材を養成してきたのが、高等教育機関としての「大学」である。

今日、日本の大学はこの歴史に学び、そのポテンシャルを発揮して、わが国の抱える諸問題の解決に積極的に取り組み、明るい未来社会構築の担い手となる公共心に富んだ人材を育成する社会的責任を課せられている。

このような時代にあって、本学は1900年に台湾協会学校として創立され、これまで海外で活躍できる人材、現地の人々と共に汗を流し、地域の福祉と発展に貢献できる「拓殖人材」を輩出してきた。本学関係者はその今日的な存在価値と使命をしっかりと再確認し、その具体的教育事業を展開しなければならない。

##### (3) 本執行部の取り組むべき課題

2000年の創立100周年以来取り組んできた「拓殖大学ルネサンス事業」としての文京キャンパス整備事業も2016年3月末で完了した。

私達執行部は、この「時代認識」と「大学の社会的責任と本学の使命」に基づき、新たに「拓殖大学教育ルネサンス2020推進本部」を立ち上げ、4年後の創立120周年に向けて「教育ルネサンスグランドデザイン」に基づく教学改革及び「拓殖人材育成広報プロジェクト」と「国際協力研究機構」の充実を推進して、本学および本法人の未来構築をはからなければならない。そのためには、何よりもその裏付けとなる財政基盤の確立と充実が不可欠である。

特に文部科学省による入学者数の抑制政策は私学にとっての死活問題であり、法人としてはこの課題も含め、引き続き「中期財政計画策定部会」を中心に検討を進め、その達成をはかる。

## 2. 平成29年度予算編成にあたって

### (1) 基本的考え方

- ① 本法人の現在保有している限られた資産（人的財産・歴史的財産・土地・建物）を最大限に有効活用して、各設置校の発展を図るために、全ての事業について費用対効果を原則とする。
- ② 予算編成にあたっては、文部科学省による入学者数の抑制強化や、消費税増税による影響等を充分勘案し、今後一層財政基盤の充実・安定を図るべく事業計画を策定することとする。特に大学においては2018年以後の更なる18歳人口の減少を踏まえ、物件費及び人件費の抑制に努めることとする。
- ③ 諸事業の取り組みにあたっては、特に入口となる学生募集力と出口である就職力をあげるために、その基となる教育の質と研究力の向上、及び学生生活の充実等の強化に繋がるように十分配慮し策定することとする。
- ④ 平成29年度事業計画（予算）は、教育・研究関連事業への重点配分を原則とするが、事業内容についてはPDCAサイクルを踏まえ徹底した見直しを図り、新規・継続事業の区別無く総合的に比較検討し策定することとする。
- ⑤ 事務局各部長は、所属各課の平成27年度決算結果及び平成28年9月までの事業評価を総括し、平成29年度事業計画（予算）策定にあたっては、部単位を基本とし、次のとおりとする。
  - (1) 新規事業については、重点施策に基づく事業を優先し、別途事務局長に申請すること。
  - (2) 継続事業（経常的支出）については、平成28年度当初予算額を上限とする。  
尚、これまでの事業内容を再度見直し、費用対効果を検証し、極力抑制に努めること。

### (2) 重点施策事項

2015年4月のキャンパス再編成後の将来構想を策定するため、新たに「拓殖大学教育ルネサンス2020推進本部」を立ち上げ、2020年に向けての改革・改善実現のため「2020 TAKUSHOKU NEW ORANGE PROJECT」がスタートした。また、今後の財政の安定化を図ることを前提とする「中期財政計画策定部会」を設置し、中・長期的な管理運営に取り組んでいる。

平成29年度は以下の事項を重点施策とする。

- ① 中期財政計画の策定  
18歳人口の更なる減少を踏まえた、平成29年度以降の収入予測の策定と4か年ごとの財政見通しの確立と諸施策の検討
- ② 八王子国際キャンパスの活性化と施設の整備充実
  - (1) 八王子国際キャンパスにおける3学部（外国語学部・工学部・国際学部）の教育連携と施設の充実ならびに平成30年度の新学科開設等の準備
  - (2) 工学部の産学連携による活性化
  - (3) 近隣高等学校との高大接続・連携の促進
  - (4) 体育学生の教育支援と強化充実ならびに施設の整備
  - (5) 八王子市及び多摩地区との地域連携
- ③ グローバル人材育成強化（外国人留学生関連も含む。）の各業務の充実強化と新たな施策を展開する。
- ④ 就職に強い大学を目指し、従来の業務強化に加え、キャリア教育、企業開拓等の強化充実を図る。
- ⑤ 課外活動における学生の自主的諸活動の支援を図り、本学学生の規律と連帯感ならびに進取の気概を醸成する。
- ⑥ 手厚く充実した学生教育を展開し、留年者や途中退学者の減少を図る。
- ⑦ 公益財団法人「大学基準協会」の認証評価の結果を踏まえ、引続き全学的に改革・改善に取り組む。

- ⑧北海道短期大学については、学科再編成後の教育の充実及び学生募集力の向上を図る。
- ⑨第一高等学校については、更なる教育の充実を図るとともに生徒募集力を高める。また、高大連携を進めるためにも従来以上に法人との連携を深め、その向上発展を図る。

## ◆平成29年度事業概要

平成29年度の主な事業は、以下のとおりとなっています。

### 1. 拓殖大学教育ルネサンス2020

#### ◎八王子国際キャンパス整備事業

- ①八王子A館外壁塗装等
- ②八王子A館変電室更新
- ③八王子A館教室等電話設置
- ④八王子A館50人教室・ゼミ教室AV機器更新
- ⑤八王子A館401教室改修工事等
- ⑥八王子A館女子トイレジェットタオル取付
- ⑦八王子A館・C館・麗澤会館マイク設備更新
- ⑧八王子A館・麗澤会館プロジェクタ更新
- ⑨八王子C館101・102・201・202教室AV機器更新
- ⑩八王子D館空調設備更新
- ⑪八王子D館203・204・205教室プロジェクタ設置
- ⑫八王子工学部棟北側屋上防水工事
- ⑬八王子工学部棟PC教室1・3・4及び情報実験室I機器更新
- ⑭八王子工学部棟エレクトロニクス実験室I空調機設置
- ⑮八王子管理研究棟1階廊下他共用部修繕
- ⑯八王子管理研究棟1階女子トイレ改修工事

#### ◎教育ルネサンスプロジェクト

「英語力の強化・向上」、「実践的な職業教育の充実」、「ゼミナール教育の充実と強化」

#### ◎2020 TAKUSHOKU NEW ORANGE PROJECT

- ①グローバル人材育成のための国際交流や海外研修、留学生教育の推進強化  
(国際交流サロン「オレンジサロン」の充実、国際交流日帰り研修他)
- ②学生生活充実のための支援活動  
(被災地復興支援ボランティア、学生参加の救命講習会の実施他)
- ③就職活動やキャリア教育に関するサポート活動  
(学生による企業取材、企業向けオープンキャンパスの実施他)
- ④スポーツ振興の推進～東京オリンピック・パラリンピックに向けて～  
(スポーツオープンキャンパスの実施、スポーツフォーラムの開催他)
- ⑤女子学生満足度向上のための諸活動  
(OMOTENASHI T-girls シーズンイベントの開催、学生による高校「母校」訪問他)

#### ◎その他

- ①2018次期学務システム更新
- ②教育研究用ネットワーク機器更新
- ③工学部学務管理システム機器更新
- ④文京C館大教室(101・201・301・401・501)マルチメディア設備更新
- ⑤文京C館PC教室・CALL教室機器更新

## 2. 学生支援関連

- ①熊本地震被災の新入生奨学支援
- ②就職ガイダンスの充実
- ③八王子図書館環境整備
- ④陸上競技場外周グリーンダスト舗装補修
- ⑤アーチェリー場トイレ整備
- ⑥文京留学生寮室内給水・給湯配管切替工事
- ⑦八王子留学生寮ルームエアコン清掃

## 3. その他の施設・設備関連

- ①文京設備維持管理（冷温水発生装置、入退室監視装置他）
- ②文京東門守衛所屋上防水・外壁塗装工事
- ③国際教育会館電話交換設備更新
- ④八王子中央監視システム更新
- ⑤八王子図書館ハロゲン消火設備点検

## 4. 設置校・その他

### ◎大 学

- ①ホームページ（学部・大学院）更新
- ②防災備蓄品（非常食）の購入
- ③事務LAN用機器更新
- ④教職員身分証明書の更新
- ⑤中国国家外国専門家局交流30周年記念事業
- ⑥拓殖大学杯サッカー大会40周年記念事業

### ◎北海道短期大学

- ①農産加工実習室エアコン・食品加工機器等設置
- ②農場大型ビニールハウス更新

### ◎第一高等学校

- ①空調換気設備（中央監視装置リモートユニット）更新
- ②図書閲覧室レイアウト変更
- ③プロジェクタ等映像機器更新
- ④授業用楽器等購入
- ⑤カフェテリア厨房機器更新及び修理